

2013年2月6日  
マツダ株式会社

2013年3月期 第3四半期 決算発表  
主な質疑応答

1. 新型 CX-5、新型 Mazda6 など SKYACTIV 商品の成功が、利益改善の大きな要因という事ですが、具体的に教えてください。

A: SKYACTIV 搭載の新型 CX-5 は、当初、現行車両より 15 万円利益改善があると見込んでいましたが、新商品の商品力を梃子とした売り方革新によりこれ以上に改善しています。第 3 四半期の増減要因を分析すると、この 2 車種の出荷台数は全体の 25%ですが、利益は 50%を占めています。これは、販売現場での売り方革新を根付かせる取り組みを行った結果、インセンティブ抑制、グレードミックスの上級へのシフトが進んだ売り方革新の効果です。

2. 直近の為替動向で円安が続いていますが、感想と適正な為替レートについて教えてください。

A: 製造業としては、超々円高が超円高へと、少し修正局面に入ったと考えています。政府、日銀には、日本が貿易立国として発展していくために、ベースとなる為替の安定化を含めた経済施策に、重点的に取り組んでいただきたいと考えています。

また、輸出産業としての適性レベルは、USD100 円が望ましいと考えています。

3. 中国販売の回復状況について教えてください。

A: 上期決算発表時に、第 3 四半期は、前年比 40%減、第 4 四半期は 20%減の見通しとコメントしましたが、第 3 四半期の販売実績は、33%減と見通しを上回っています。

また、来店客数も徐々にではありますが、回復傾向にあります。昨年は中国事業の再編、今年は夏に、新型 CX-5 の現地生産、後半には新型 Mazda6 の生産も開始します。

引き続き、商品、販売・マーケティングの強化に取り組んでまいります。